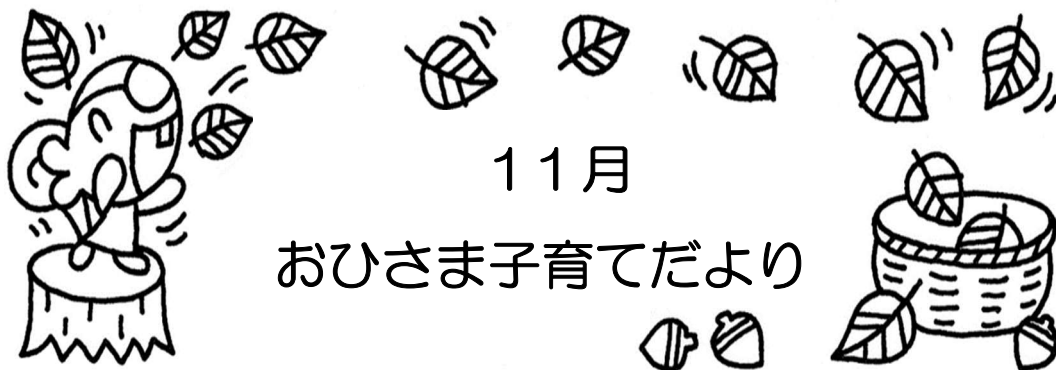




木々の色づきとともに秋の深まりを感じるようになりました。
色とりどりの落ち葉やさまざまな形のドングリなど、秋の自然は子どもたちにとって宝の山。これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいきたいと思ひます。
季節が移り変わる中、気温の変化に体が追いつかず、体調を崩すお子さんが増えるのがこの時期です。これからは風邪をひきやすくなります。手洗いやうがいを行い、予防策を取るようにしましょう。

足に合った靴を選びましょう！

戸外遊びや運動遊びを通して元気な体づくりを大切にしています。乳幼児期は足の骨や土踏まずが形成される時期です。お子さんの足に合った靴を選びましょう。

【～靴の見極め方～】

- ① つま先 1 cm 程度ゆとりがあり、足の指が自由に動く。
- ② 足に馴染んでいる。
- ③ 靴の先がよく曲がる。
- ④ かかとがしっかりとれている。



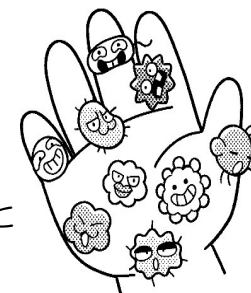
令和 8 年 10 月 31 日
社会福祉法人えどがわ
清新 おひさま保育園



幼児期から身につけさせたい 手洗い習慣

目に見えなくても手にはばい菌がいっぱい

感染症の原因になるばい菌（ウイルスや細菌）は、小さくて目には見えません。感染している人と握手や抱っこなどで触れ合ったり、汚染されたドアノブ、手すり、遊具などを触ったりすると、手にばい菌がたくさんつきます。そして、その手で口や目、鼻を触るとばい菌が体内に侵入して、感染症にかかってしまいます。感染を防ぐためには、石けんを使った手洗いが有効です。



©少年写真新聞社2025

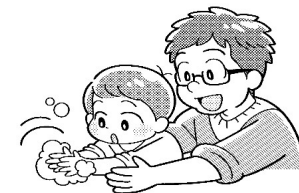
子どもの成長発達に合わせて手洗いをサポート

0～1 歳頃 自分で立てないうちは、おしぼりで手を拭きます。立てるようになったら、踏み台などを用意して、子どもを後ろからしっかりと支えて、一緒に洗います。

2～3 歳頃 手本を見せて、手の洗い方を伝えます。

「自分でできる」という意識が高まる時なので、できるようになったことは、言葉にして認めましょう。

4～5 歳頃 自ら手洗いを一通りできるようになります。きちんと洗えているかどうかの確認は必要です。また、「手洗いでばい菌を洗い流そう」など、手洗いの必要性を伝えるようにします。



©少年写真新聞社2025



©少年写真新聞社2025